

伊藤 広大
ITO Kodai

■ 専門分野

会計学分野・財務会計

■ 指導可能な研究テーマ

財務会計に関する実証研究

■ 過去に指導した学生の修士論文題目

2026年度着任のため、該当なし

■ 修士論文作成のための必読文献リスト

1. Scott, William R., and Patricia C. O'Brien, *Financial Accounting Theory 8th Edition*, Pearson Education Canada, 2019（太田康広・椎葉淳・西谷順平訳、『新版 財務会計の理論と実証』，中央経済社，2022年）
2. 岩壺健太郎，『なるほどファイナンス』，有斐閣ストゥディア，2023年
3. 笠原晃恭・村宮克彦，『実証会計・ファイナンス：Rによる財務・株式データの分析』，新世社，2022年
4. 神取道宏，『ミクロ経済学の力』，日本評論社，2014年
5. 桜井久勝・須田一幸，『財務会計・入門 第18版』，有斐閣アルマ，2025年
6. 桜井久勝，『利益調整 発生主義会計の光と影』，中央経済社，2023年
7. 東京大学教養学部統計学教室編，『統計学入門』，東京大学出版会，1991年

財務会計の実証研究を行うために必要な基礎として、財務会計・ファイナンス・統計・プログラミング（R・Python等）の知識を有していると望ましいです。余力があれば、学部レベルのミクロ経済学の知識もあるとさらに好ましいです。個別の研究テーマに特化した専門書籍・論文等は、入学後に各自の関心に合わせてお伝えします。

■ 修士論文作成に向けた履修推奨科目

財務会計特論，国際会計特論，計量分析特論，経営財務特論

会計学，ファイナンス，統計・計量経済学（余力がある場合はミクロ経済学）といった内容を扱う科目を履修されると望ましいです。

■ 博士課程後期での研究指導実績

大学院博士課程前期（既存修士）研究指導教員情報

2026年度着任のため、該当なし

■ その他

財務会計における会計情報の有用性を対象とした実証研究であれば、広範に歓迎します。
より具体的な研究のイメージについては、教員の実際の研究等をご参照ください。